



真庭市立月田小学校 学校だより

# 大門坂



第50号  
令和3年11月24日  
校長 清友 尚 発行  
月田小学校



学び続け、豊かな心を持ち、  
たくましく生きる子どもの育成  
<https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/82/>

## 菊の香や 月夜ながらに 冬に入る (正岡子規)

わずか4鉢でしたが、今年も大輪が咲いてくれました。実を言えば、5・6年生に一人一鉢の三本仕立てを育ててもらうつもりで準備をしていたのですが、苗作りの段階で失敗し、4本だけが残ったのでした。

その菊花が満開だった立冬を過ぎた頃から、寒さが増してきました。新型コロナの感染者数は減少してはいるものの、引き続き基本的な感染予防を続けていきます。あわせて風邪やインフルエンザが流行する季節になりました。健康管理に細心の注意を払って、日々の生活を送ってほしいものです。



## 学習発表会の参観 ありがとうございます

11月6日(土)の学校開放日(土曜授業)に、予定どおり学習発表会を行うことができました。当日は約100名の保護者・地域の皆様にお越しいただきました。感染予防対策にもご理解・ご協力をいただきありがとうございました。保護者の皆様にはうれしい感想をたくさんいただいています。

児童数の減少により、昨年度から低中高のくくりで劇づくりに取り組んでいます。運動会が終わるとすぐに各学年で目標を決め、準備を始め、練習を積み重ねて当日に至りました。私は時間を見つけて練習の様子を見てきましたが、日増しに質が向上していることを実感することができました。

今年度は発表をしている児童以外は教室に待機し、整備されたりリモート環境による生配信を見ることにしました。来年度こそは、全校合唱で締めくくれる学習発表会ができることを願ってやみません。



## 10/25 端末で児童朝礼

10月25(月)の児童朝礼は、職員室の私と各自の端末を結んでリモートで行いました。児童が各家庭にいるという体で、リモート授業にも挑戦してみました。

「『○○の秋』の○○にあなたはどんな言葉を入れますか?」という質問に対して、挙手ボタンを押し、ホワイトボードのフリップを示しながら発言するという手順で体験してみました。

少しずつですが児童達は端末の操作にも慣れてきています。教室をまわった時に端末を使って器用に調べ学習をしている姿をよく見かけるようになりました。



### ◆岡山県児童生徒絵画展

特選 「協力して作った飯ごうすい飯」  
5年中芝倅太郎さん  
準特選 「みんなでもり上げたキャンプファイ  
アー」 5年山根愛音さん  
他に佳作 6名

### ◆児童木工工作コンクール美作地区審査

アイデア賞 「りゅうぼくのしゃしんたて」  
2年野村聡太さん

### ◆税に関する絵はがきコンクール

優秀賞 6年谷口伶音さん

### ◆巡回展出品

「ともだちいいな」 1年西 葉那さん  
「ミリーのすてきなケーキのぼうし」  
2年植 康博さん  
「夕やけ花～まぼろしの花～」  
3年竹島早智さん  
「まぼろしの花～夕焼けにさく花～」  
4年鯨 晃貴さん  
「不思議な形の虫食い葉っぱ」  
5年植 和美さん  
「思い出の風景」 6年谷口伶音さん

### ◆人権ポスター審査

最優秀賞 2年杉 一樹さん  
奨励賞 2年影山瑠星さん

## 12月の行事予定

- 1日 (水) 修学旅行 (四国方面)
- 2日 (木) 修学旅行 (四国方面) /ALT来校/就学時  
健康診断 (14:00勝山文化センター)
- 3日 (金) 教育相談日
- 5日 (日) (真庭市人権・連P教育講演会 14:00勝  
山文化センター)
- 7日 (火) 1年食に関する指導
- 8日 (水) 短縮5時間/一斉下校
- 9日 (木) 人権参観日・**映画会**/自動車文庫/短縮5  
時間
- 10日 (金) あいさつ運動/読み聞かせ/5・6年お飾  
り作り
- 13日 (月) 児童朝礼/わくわく
- 16日 (木) ALT来校/短縮4時間
- 17日 (金) 地区児童会/教育相談日 (SC来校) /短縮  
4時間
- 20日 (月) 短縮4時間
- 21日 (火) 司書来校/短縮4時間
- 22日 (水) 短縮4時間
- 23日 (木) 給食終了/大掃除/短縮4時間
- 24日 (金) 2学期終業式/短縮3時間
- 25日 (土) 冬季休業 (~1/6)

※ 月田小学校HPに2か月分の行事予定を掲載して  
います。

### トピック校長室㊦

#### 第五福竜丸(其乃巻)

9月5日(日)に勝山文化センターで「真庭市  
人権を考える市民の集い」が開催されました。「お  
かあさんの被爆ピアノ」という映画鑑賞会でしたか  
ら、参加された方もいらっしゃるのではないかと思  
います。私は、市人権教育推進委員を委嘱され  
ていることもあり、スタッフとして出かけましたが、こ  
の映画を観て、とある出来事を思い出しました。今  
回は3回シリーズでこのことを書きたいと思います。

まずこの映画についてです。原爆の爆心地か  
ら3キロ以内で被爆したピアノを「被爆ピアノ」と呼  
ぶそうですが、調律師の矢川光則(佐野史郎)は  
自ら運転する4トトラックにそれを乗せて全国を回  
ってコンサートを開いていました。主人公の江口菜  
々子(武藤十夢)は、母久美子(森口瑠子)が  
矢川に被爆ピアノを寄贈していたことを知り、物語  
は展開していきます。そして映画の冒頭は、あの  
第五福竜丸の前でのピアノの演奏シーンでした  
(つづく)。

### 12/9の映画「ほんとの空」について

本来ならどなたか講師を依頼する年です  
が、コロナの状況を予測できなかったため、映  
画会に替えさせていただきました。

高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱  
い、同和問題や原発問題に伴う風評被害の問  
題、これら多くの人権課題に共通する根っこの  
部分は、誤った考え方や思い込み、偏見とい  
う「意識」です。誰もが他者の排除や差別がよ  
くないことは理解しています。その一方で、私  
たちは自分や身近な人に関わる出来事には敏  
感に反応するけれど、それ以外のことには他人  
事のように感じたりします。

また、私たちは、自分や家族の生活を守る  
ために、あるいは誤解や偏見に気づかずに、  
他者を排除したり、傷つけたりしがちです。誤  
解や偏見に気づき人と深く向き合うこと、他  
者の気持ちを我がこととして思うこと、子ど  
もから大人までが、人権課題を自らの視点で、  
自分に関わることとして捉え、日常の行動につ  
ながってもらいたいと考え、「ほんとの空」映画  
会を企画しました。